



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2025年3月分）

◎ 県内景況は、拡大基調にある。

☆個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルとも

に前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入

(推計値)も上回る。

☆企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：上門、小嶺、永田 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報 (2025年3月分)

◎2025年3月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、拡大基調にある。

3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を上回り、中古車販売台数は前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

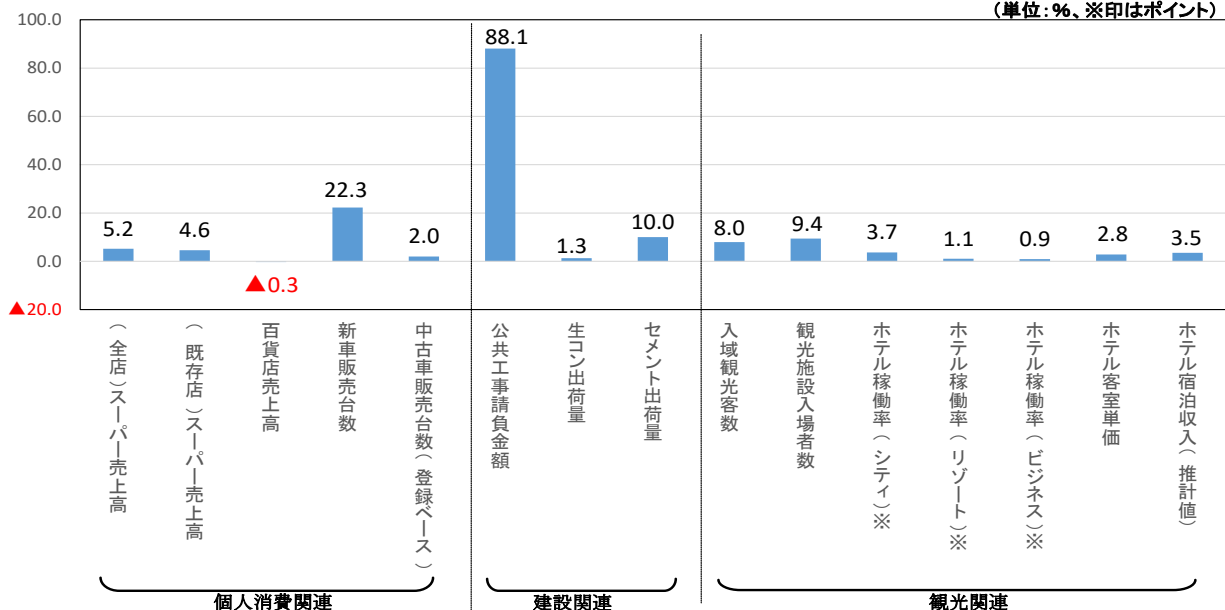
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、弱含んでいます。観光関連は、国内観光客の増加などから、前年及びコロナ前を上回る水準で推移する指標がみられます。よって、「県内景況は、拡大基調にある」と景気判断を据え置きました。

(2024年10月の上方修正から6か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位: %、※印はポイント)



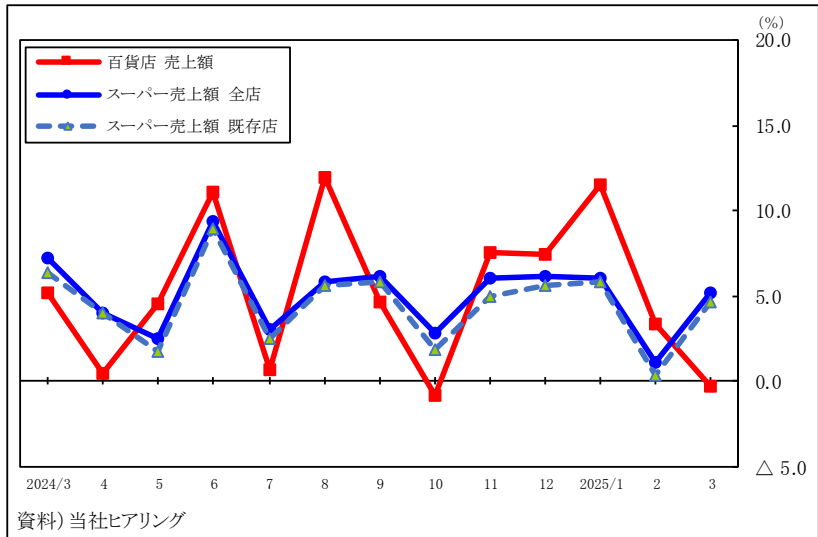


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2024/3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5
6	9.4	8.9	11.1
7	3.0	2.5	0.7
8	5.8	5.6	12.0
9	6.1	5.8	4.6
10	2.8	1.9	△ 0.8
11	6.0	5.0	7.5
12	6.2	5.6	7.4
2025/1	6.0	5.8	11.5
2	1.1	0.3	3.4
3	5.2	4.6	△ 0.3



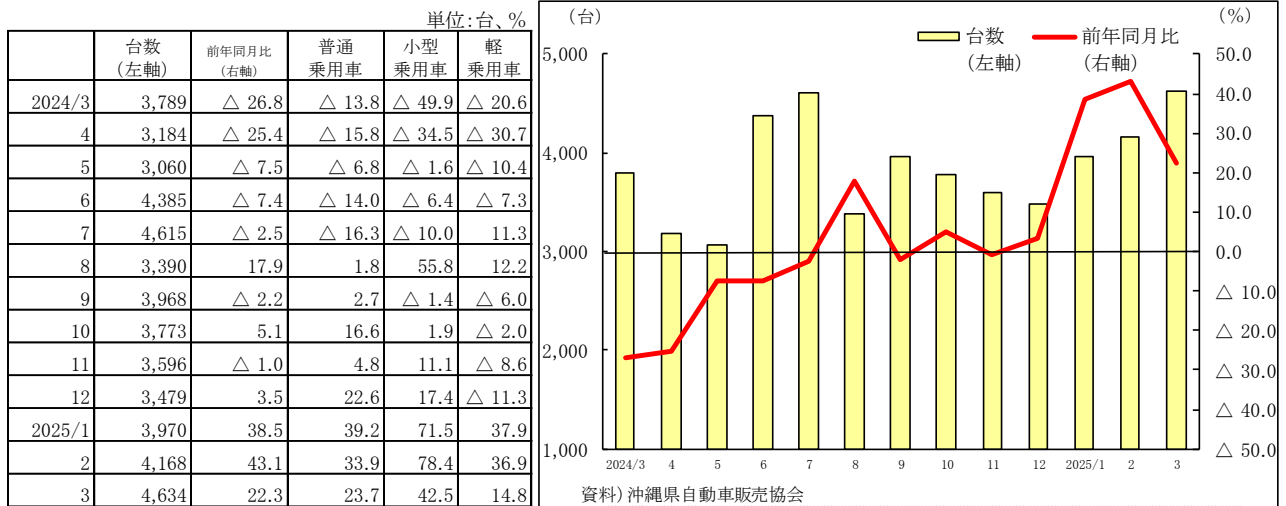
注) 前年同月比

3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 5.2%増)」は、34ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 5.2%増)」は、店舗数の増加や物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 7.4%増)」は、売り上げ好調などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 4.0%増)」は店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 4.6%増)」は、34ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 4.5%増)」は、物価上昇の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.7%増)」、「家庭用品(同 2.6%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 0.3%減)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.6%増)」は、前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.5%増)」は、催事企画の好調等により前年同月を上回りました。「家庭用品(同 31.0%増)」は、高単価商材の販売好調などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 4.5%減)」、「身の回り品(同 4.1%減)」は、前年同月を下回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

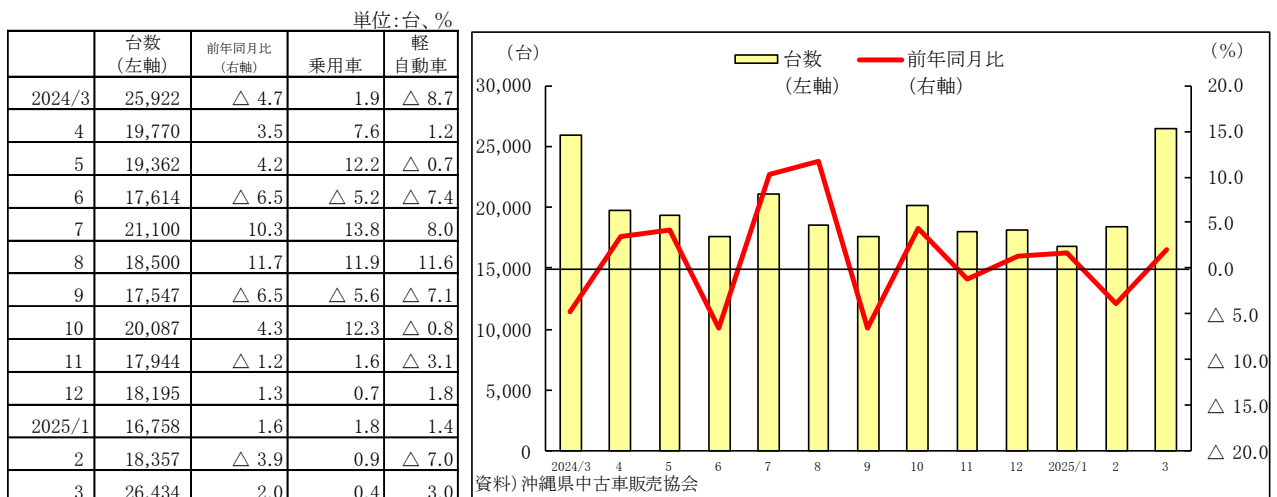


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,634台(同22.3%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同23.7%増)」、「小型乗用車(同42.5%増)」は、一部メーカーの出荷停止の反動やレンタカー台数の増加などにより前年同月を上回りました。「軽乗用車(同14.8%増)」は、一部メーカーの出荷停止の反動などにより前年同月を上回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

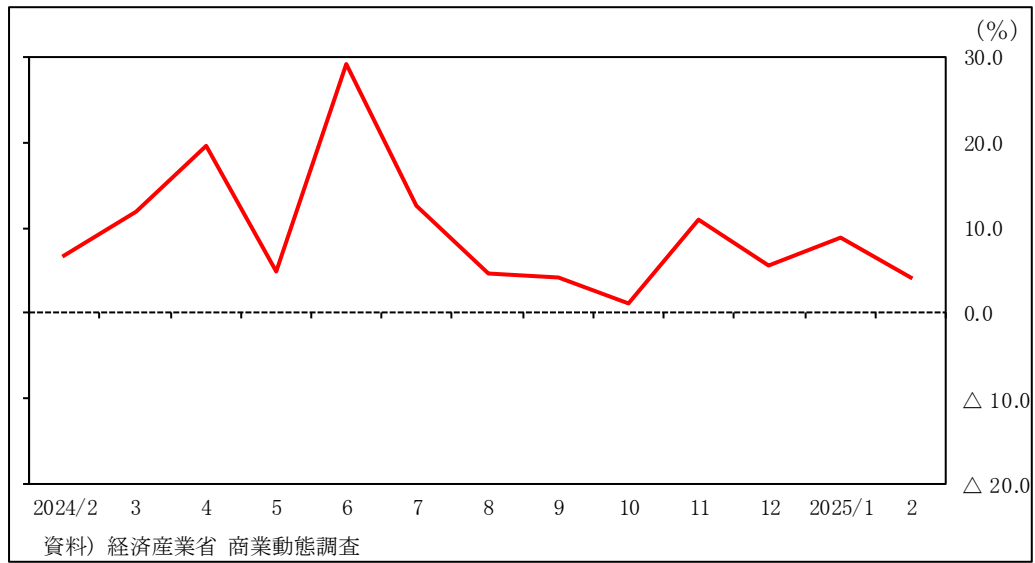
注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で26,434台(同2.0%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同0.4%増)」、「軽自動車(同3.0%増)」は、前年同月を上回りました。

④ 【参考：2月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

単位：%

	販売額
2024/2	6.8
3	11.9
4	19.6
5	4.8
6	29.3
7	12.5
8	4.6
9	4.1
10	1.1
11	10.9
12	5.6
2025/1	8.9
2	4.2



注) 前年同月比

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

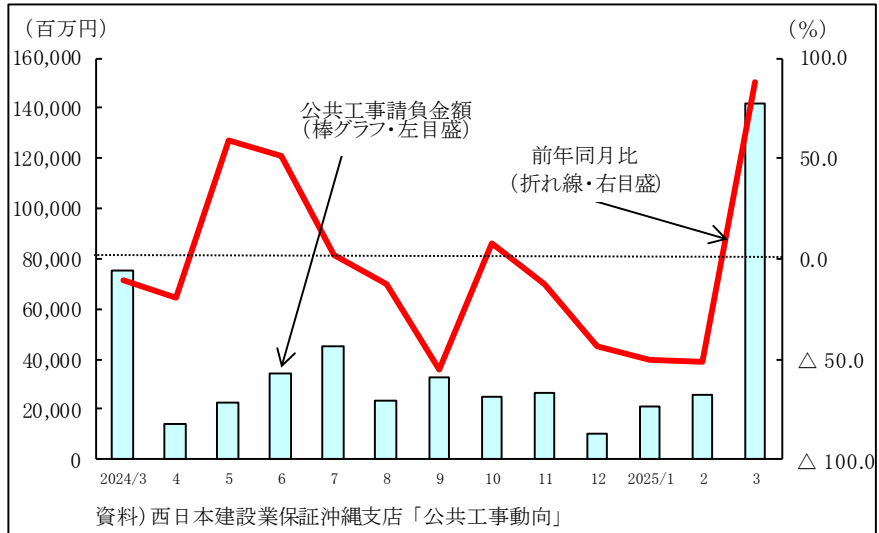


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

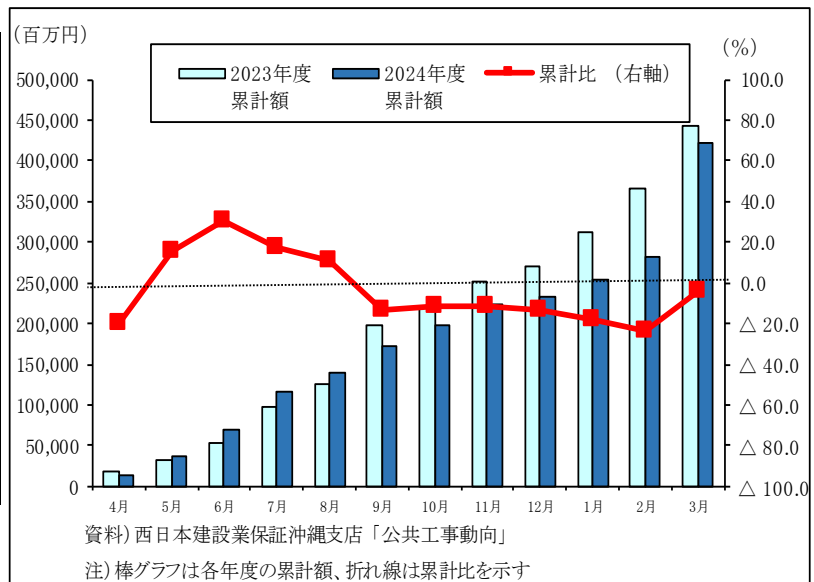
	請負金額	前年同月比
2024/3	75,459	△11.1
4	14,227	△19.5
5	22,412	58.7
6	34,088	51.0
7	45,309	2.2
8	23,591	△12.5
9	33,001	△55.1
10	24,622	7.7
11	26,680	△12.9
12	10,062	△43.5
2025/1	20,977	△50.2
2	26,062	△51.7
3	141,950	88.1



②【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。

単位:百万円、%

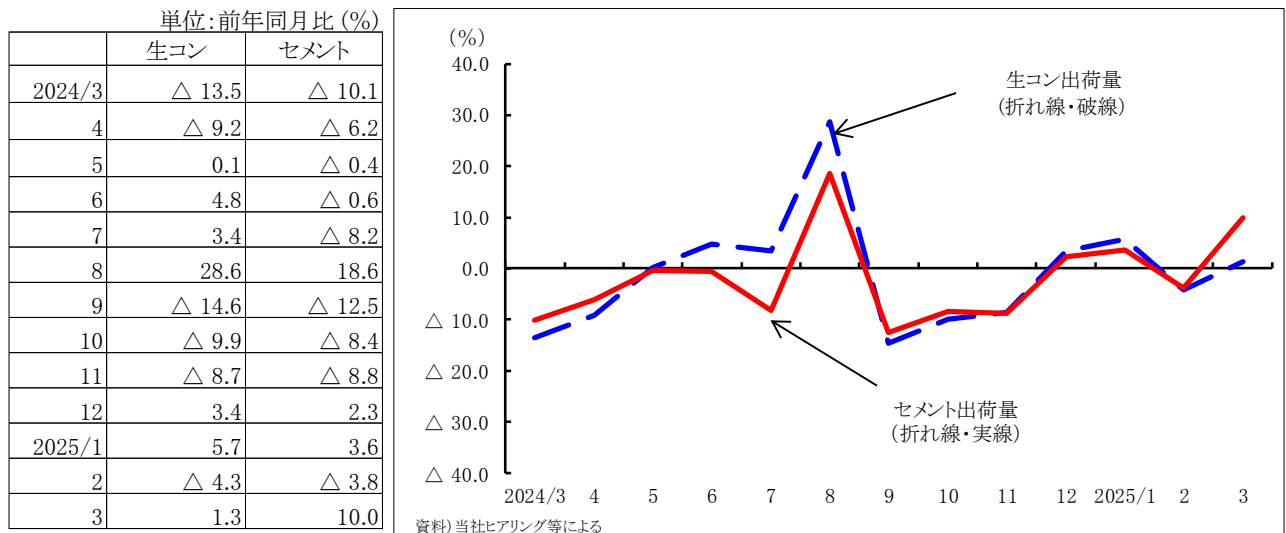
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	17,663	14,227	△19.5
5月	31,781	36,639	15.3
6月	54,363	70,727	30.1
7月	98,716	116,036	17.5
8月	125,692	139,628	11.1
9月	199,121	172,629	△13.3
10月	221,972	197,252	△11.1
11月	252,599	223,932	△11.3
12月	270,411	233,994	△13.5
1月	312,575	254,969	△18.4
2月	366,561	281,033	△23.3
3月	442,020	422,984	△4.3



3月の公共工事請負金額は、前年同月比 88.1%増の 1,419 億 5,000 万円となりました。

発注者別でみると、「国(同 141.2%増)」、「沖縄県(同 14.4%増)」、「その他の公共的団体(同 5.9%増)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同 68.6%減)」、「独立行政法人等(同 1.4%減)」は前年同月を下回りました。

③ 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



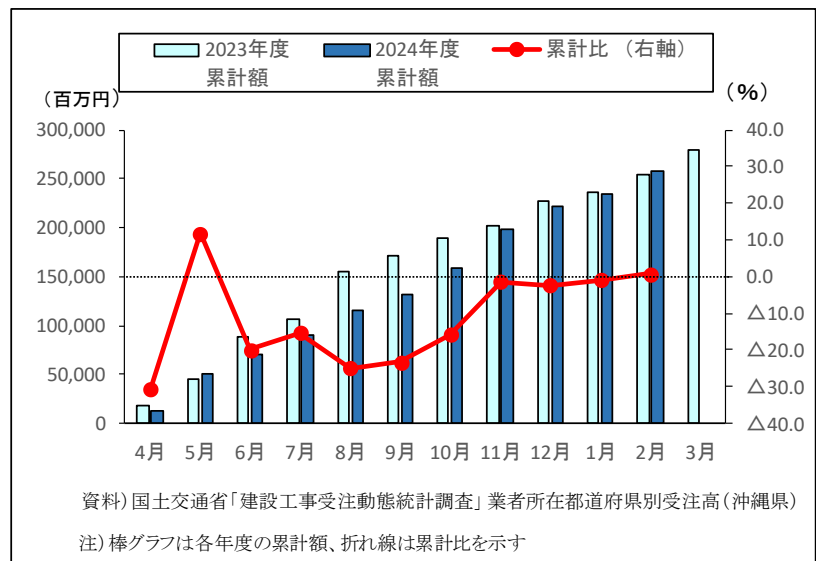
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は、1.3%増と前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、北部地区、中南部地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 2.2%上回りました。民間工事向けは、中南部地区、石垣地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 0.8%上回りました。**セメント**の出荷量は、10.0%増と前年同月を上回りました。

④【参考】民間等元請受注高 (年度累計) …前年同期を上回る。

単位: 百万円、%

	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654	51,037	11.8
6月	88,815	71,203	△19.8
7月	106,797	90,334	△15.4
8月	155,056	116,251	△25.0
9月	170,863	131,202	△23.2
10月	189,095	159,386	△15.7
11月	202,154	199,171	△1.5
12月	226,690	221,493	△2.3
1月	235,764	233,879	△0.8
2月	254,964	257,161	0.9
3月	279,940		

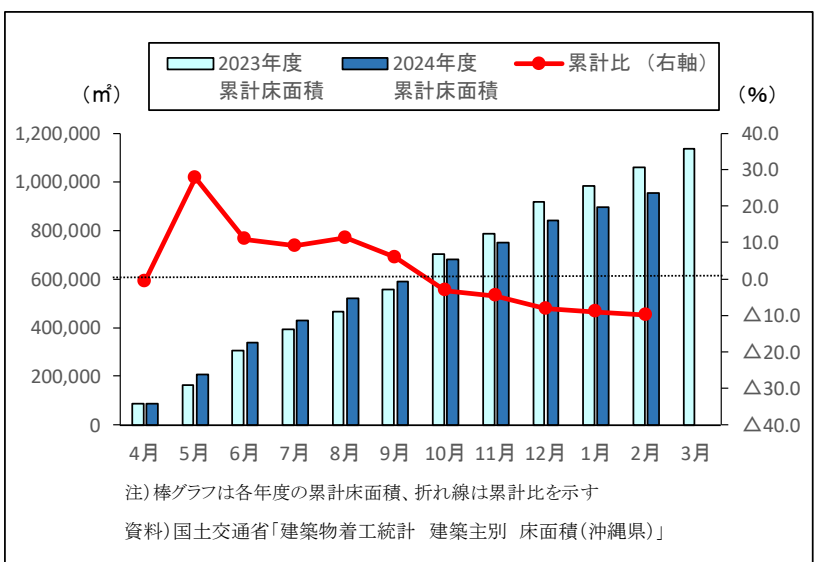


2024 年度累計値では、0.9%増となっています。

⑤【参考】民間着工建築物床面積 (年度累計) …民間 (会社+個人) 着工建築物の床面積は前年同期を下回る。

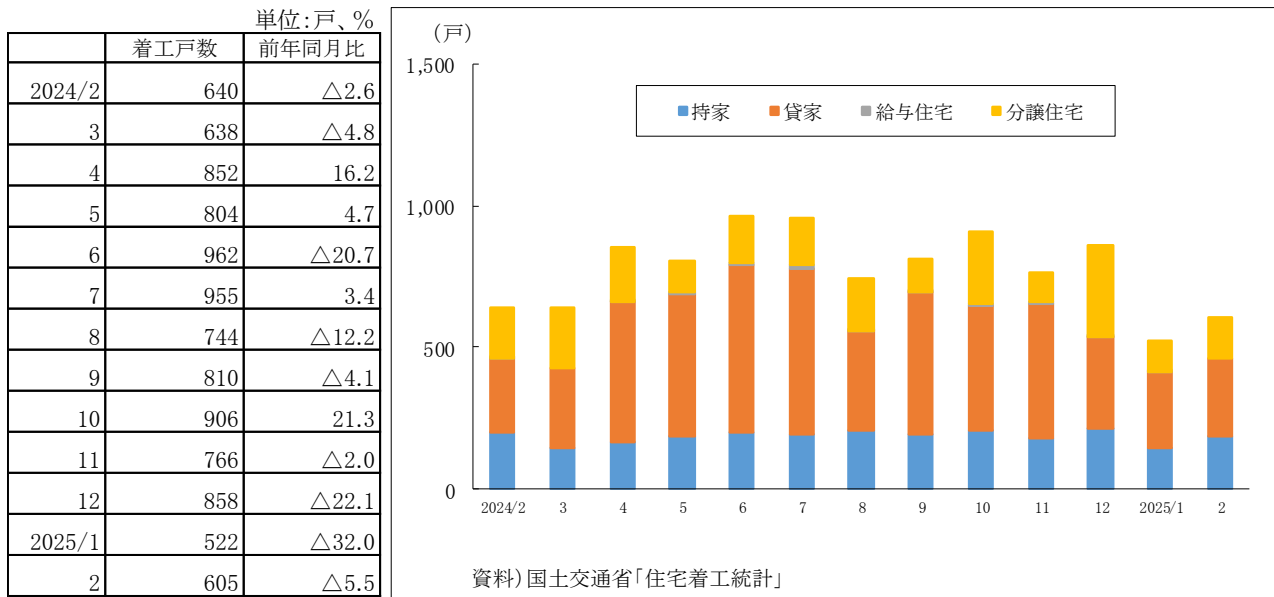
単位: ㎡、%

	2023年度 累計床面積	2024年度 累計床面積	累計比 (右軸)
4月	88,485	87,961	△0.6
5月	162,447	207,647	27.8
6月	303,783	336,880	10.9
7月	392,409	428,079	9.1
8月	466,557	519,324	11.3
9月	558,003	590,901	5.9
10月	701,807	679,457	△3.2
11月	786,859	750,197	△4.7
12月	915,849	841,062	△8.2
1月	984,568	896,395	△9.0
2月	1,058,296	952,835	△10.0
3月	1,136,681		



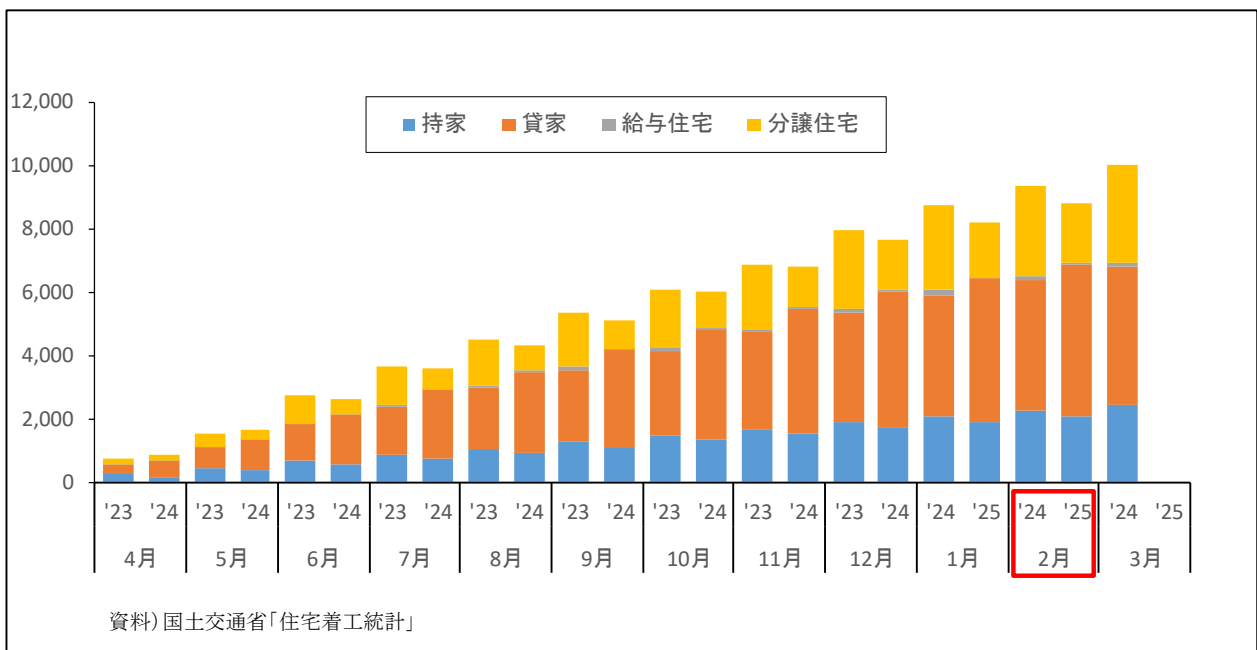
2024 年度累計値では、10.0%減となっています。

⑥【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。



2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 5.5%減の 605 戸となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同 16.9%減)」、「持家(同 6.1%減)」、「給与住宅(100.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「貸家(同 4.2%増)」は前年同月を上回りました。

⑦【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



2024 年度累計値では、6.2%減となっています。



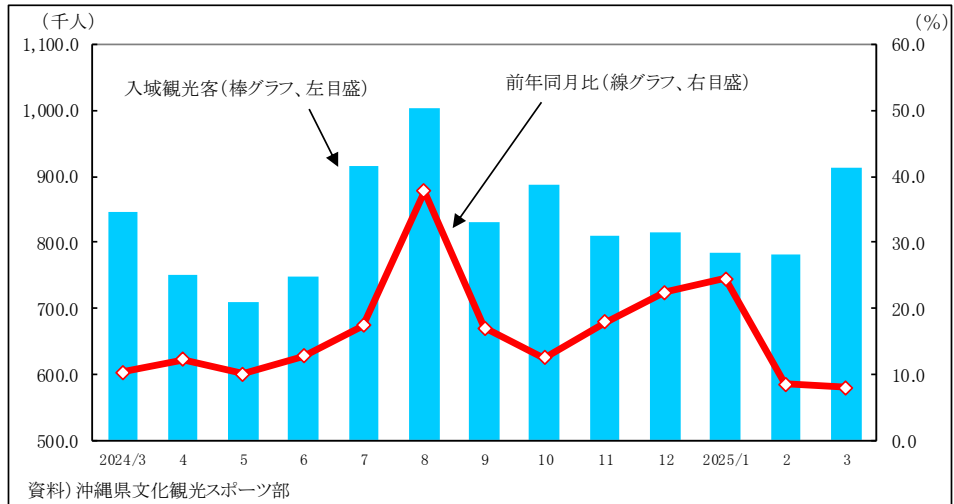
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2024/3	845.1	10.3
4	752.3	12.3
5	710.4	10.1
6	748.0	12.8
7	915.4	17.5
8	1,003.8	37.8
9	830.9	17.0
10	886.9	12.5
11	811.2	17.9
12	816.4	22.5
2025/1	783.4	24.5
2	781.3	8.6
3	912.4	8.0

※外国客は乗務員等を含む



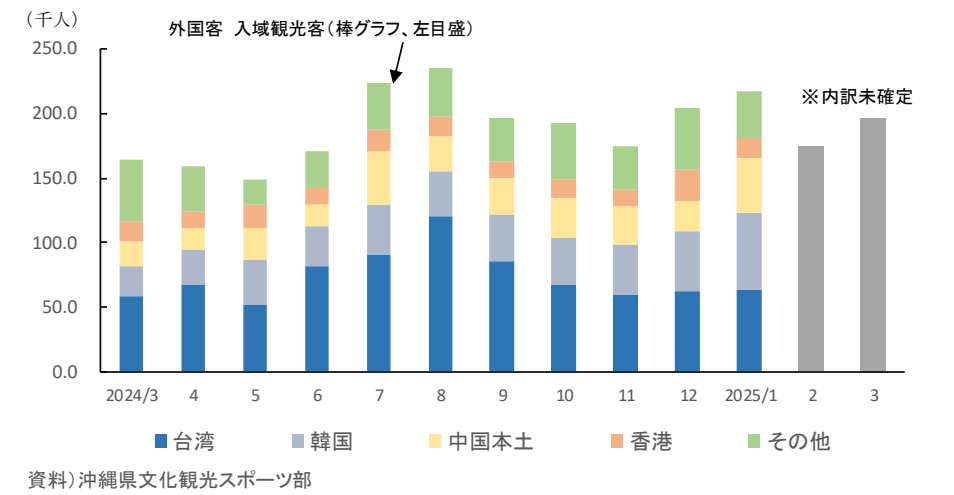
外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2024/3	164.1	155.6
4	158.9	138.2
5	148.9	113.0
6	170.4	119.3
7	223.1	93.7
8	235.0	143.8
9	196.3	84.1
10	192.3	66.7
11	174.4	91.4
12	204.1	114.4
2025/1	216.6	79.9
2	175.1	20.9
3	197.0	20.0

※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比はグラフへの反映はなし。



3月の入域観光客数は春休みの旅行需要に対する航空会社の増便などにより、3月としては過去最高の912,400人(前年同月比8.0%増)となり、40ヵ月連続で前年同月を上回りました。過去最高の入域観光客数は6ヵ月連続となっています。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、28,400人増加(3.2%増)と上回っています。

2019年同月比(国内客)では、58,000人増加(8.8%増)となっています。

2019年同月比(外国客)では、29,600人減少(13.1%減)となっています。

外国客入域観光客数は、197,000人となりました(空路138,200人、海路58,800人)。今後も空路、海路ともに外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

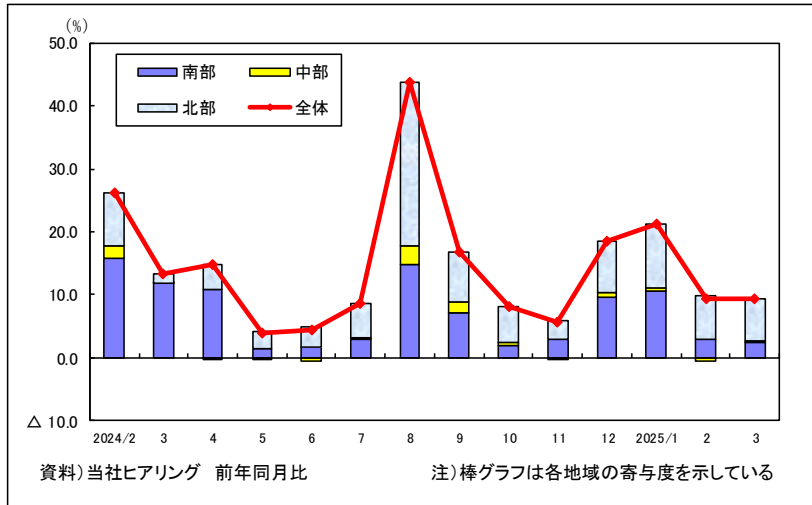
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2024/3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0
6	4.3	4.4	△ 7.0	5.9
7	8.5	8.8	3.2	9.0
8	43.7	43.3	37.3	44.9
9	16.8	20.4	24.7	13.8
10	8.0	4.7	8.2	10.5
11	5.6	6.9	△ 3.0	6.0
12	18.5	23.3	6.4	17.0
2025/1	21.2	28.1	4.7	19.9
2	9.4	7.2	△ 4.8	13.9
3	9.4	6.3	1.6	13.2

※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



3月の**観光施設入場者数**は、全体では9.4%増となり36ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、北部の観光施設は13.2%増、南部の観光施設は6.3%増、中部は1.6%増となりました。

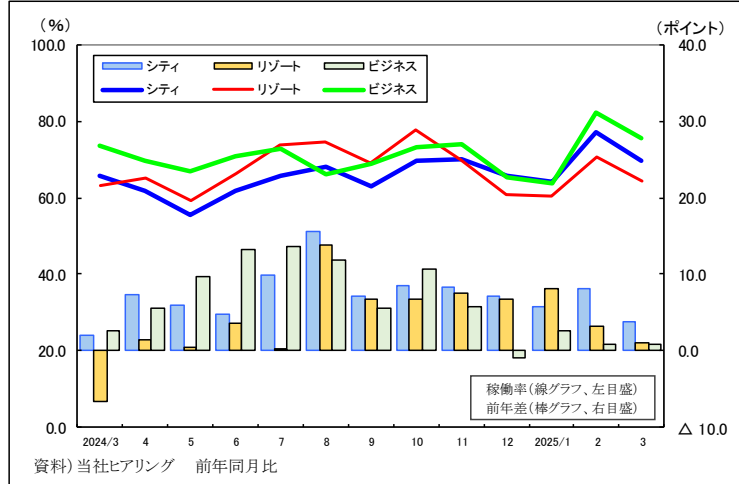
(参考)2019年同月比では、全体で16.9%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は9.1%の減少、南部は22.3%の減少、中部は31.3%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2024/3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	55.4	59.3	66.8	6.0	0.5	9.6
6	61.7	66.4	70.9	4.7	3.5	13.3
7	65.9	73.7	72.7	9.9	0.3	13.6
8	68.0	74.4	66.3	15.5	13.9	11.9
9	63.0	68.9	68.9	7.2	6.8	5.5
10	69.7	77.8	73.2	8.6	6.8	10.6
11	69.9	69.8	74.0	8.4	7.5	5.7
12	65.7	60.9	65.3	7.2	6.7	△ 0.9
2025/1	64.2	60.4	63.6	5.7	8.2	2.7
2	77.1	70.7	82.2	8.1	3.2	0.9
3	69.5	64.4	75.6	3.7	1.1	0.9

注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



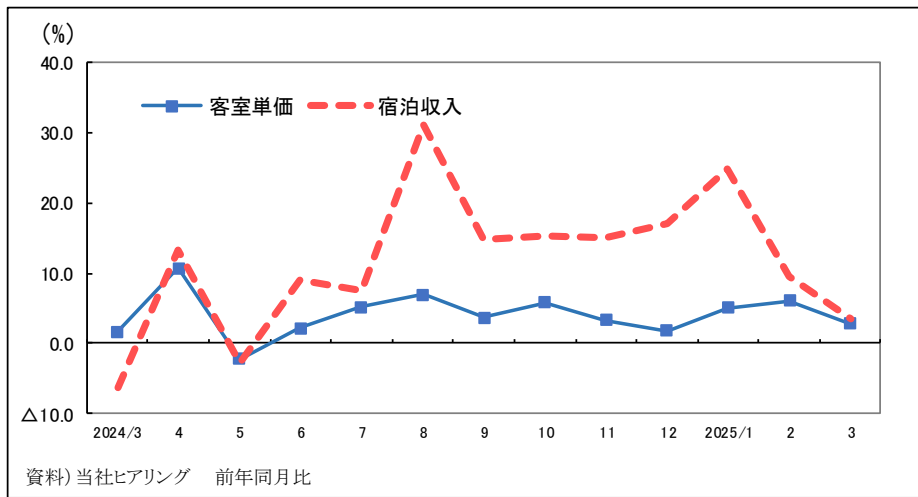
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 3.7 ポイント増加、リゾートホテルは 1.1 ポイント増加、ビジネスホテルは 0.9 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 5.9 ポイントの減少、リゾートホテルは 12.4 ポイントの減少、ビジネスホテルは 2.1 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2024/3	1.7	△6.4
4	10.7	13.3
5	△2.2	△2.9
6	2.1	9.0
7	5.2	7.4
8	7.0	31.2
9	3.7	14.9
10	5.8	15.4
11	3.3	15.2
12	1.8	17.0
2025/1	5.0	24.9
2	6.1	9.5
3	2.8	3.5



※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

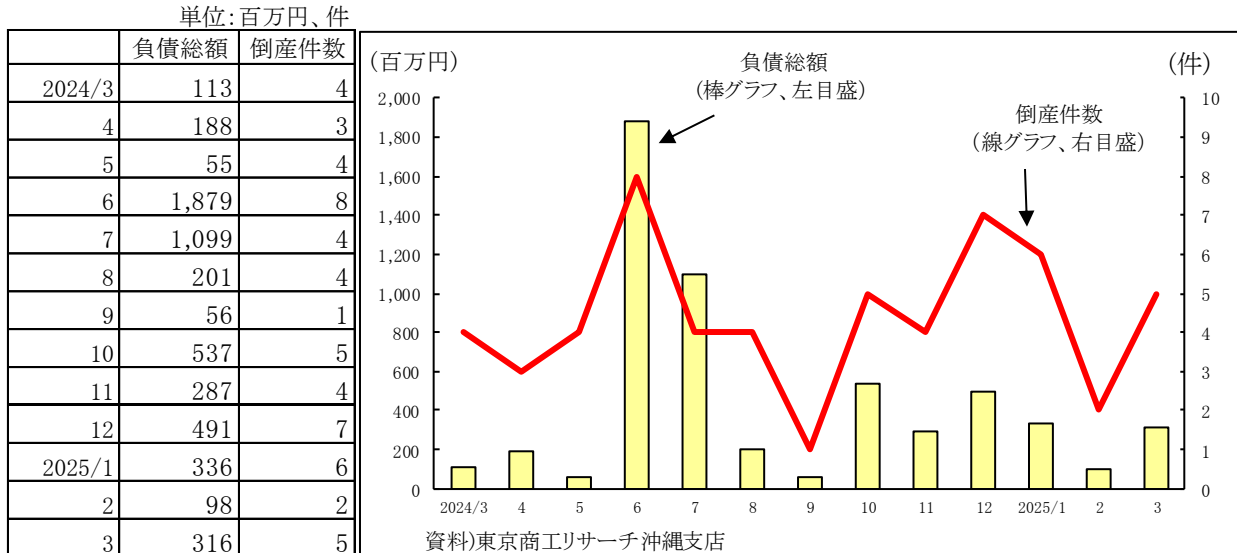
ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 2.8%増と 10 ヶ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**は 3.5%増と 10 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 20.0%の増加、客室収入は 1.7%の増加となっています。



■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

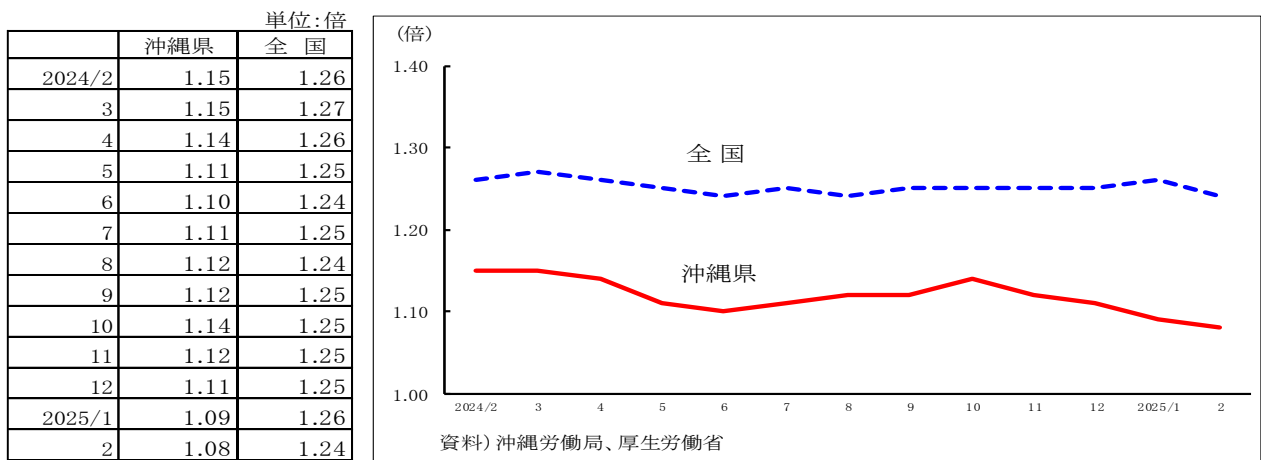
3月の**企業倒産件数**は5件(うち1億円以上10億円未満の大口倒産1件)となり、前年同月より25.0%上回りました。

負債総額は3億1,600万円となり、前年同月より179.6%上回りました。



■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。



注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

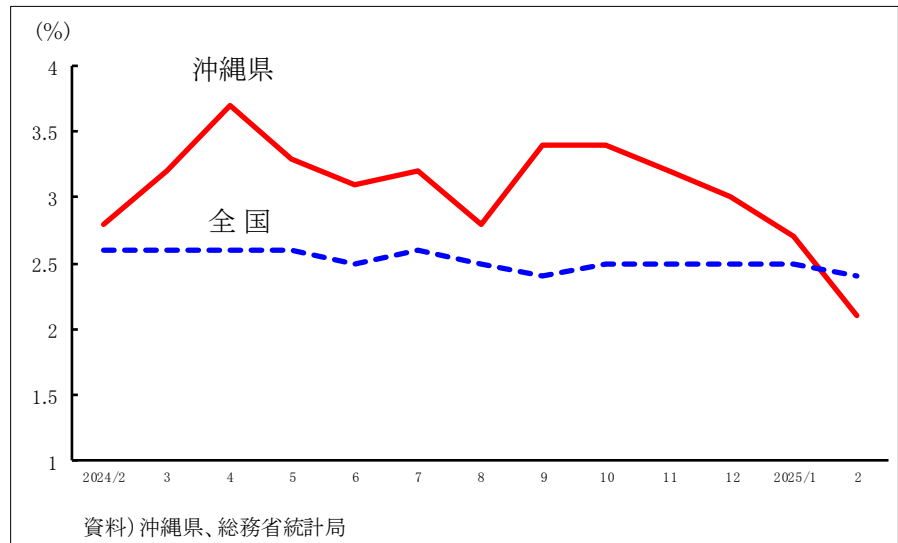
2月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比3.0%減の30,749人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.6%減の28,527人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.08倍と、前月より0.01ポイント低下しました。

②【参考】完全失業率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2024/2	2.8	2.6
3	3.2	2.6
4	3.7	2.6
5	3.3	2.6
6	3.1	2.5
7	3.2	2.6
8	2.8	2.5
9	3.4	2.4
10	3.4	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2025/1	2.7	2.5
2	2.1	2.4

注) 季節調整済



2月の完全失業率(季節調整値) は、2.1%となり前月より0.6ポイント低下しました。